

下記書類は、特例工業団地に立地する場合にのみ必要です。



別紙 3

工業団地の面積並びに工業団地共通施設の面積及び配置

工業団地の名称				
工業団地の所在地				
工業団地の面積		m <sup>2</sup>		
工業団地内の全工場又は 全事業場の敷地面積の合計		m <sup>2</sup>		
工業団地共通施設の面積の合計		m <sup>2</sup>		
うち 緑 地	面積			
緑地以外の環境施設	面積	m <sup>2</sup>	種 類	
その他の共通施設	面積	m <sup>2</sup>	種 類	
その他の施設	面積	m <sup>2</sup>	種 類	
工業団地の環境施設の配置に 関する概略図その他の説明				

備考 その他の施設の面積の欄は、工業団地の面積から工業団地内の全工場又は全事業場の敷地面積の合計及び工業団地共通施設の面積の合計を減じた面積を記載すること。

(参考)

工業団地に工場等を設置する場合における特例の算定式

敷地面積

当該工場等の敷地面積 + 規則第 7 条に規定する工業団地共通施設の面積

$$\times \frac{\text{当該工場等の敷地面積}}{\text{工業団地内の全工場又は全事業場の敷地面積の合計}}$$

緑地の面積

当該工場等の緑地の面積 + 規則第 7 条に規定する工業団地共通施設のうち緑地の面積

$$\times \frac{\text{当該工場等の敷地面積}}{\text{工業団地内の全工場又は全事業場の敷地面積の合計}}$$

環境施設の面積

当該工場等の緑地の面積 + 規則第 7 条に規定する工業団地共通施設のうち環境施設の面積

$$\times \frac{\text{当該工場等の敷地面積}}{\text{工業団地内の全工場又は全事業場の敷地面積の合計}}$$

様式例第 1

整理番号

届出書に記載した製品名を記載して下さい。

1	生産開始の日						年 月 日
2	主要製品別生産能力及び生産数量						製品名
	生産能力		生産数量				
3	水源別工業用水使用量 計 (単位：トン/日)						上水道
	工業用水道	河川表流水	井戸水	その他	回収水	海水	
4	電力の使用量 計 (単位：KWH/日)						買電による電力使用量
	自家発電による電力使用量						
5	輸送手段別輸送量 計 (単位：トン/日)						自動車
	燃料、原材料及び外注部品		鉄道	船舶	その他	計	
	製品						
6	従業員数 計 (単位：人)						職員
	男	女	工員	女	計	男女	

今回の変更に係る生産施設等の生産開始日を記載して下さい

生産能力及び数量は各々の業種に応じ通常用いる単位で記載してください。(例：ト/日、m<sup>2</sup>/月等) 又、変更届に当っては変更前、変更後に区分し、それぞれの数字を記載して下さい。なお、一製品について能力及び数量は同一単位で表して下さい。

循環水も回収水となりますので含めて下さい。又、変更届の場合、変更前、変更後を表して下さい。

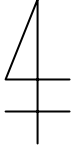
輸送量はト換算した値で1カ月当り平均輸送量を記載して下さい。又、輸送手段中、その他に該当する場合は具体的に説明して下さい。

職員とは事務に従事している人、工員とは直接生産に従事している人と解して下さい。

備考 1. 事業概要説明書の用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 を用いて下さい。

届出書に記載された面積と同数字になります

特定工場用地利用状況説明書

特定工場敷地面積	m <sup>2</sup>	うち自己所有地	m <sup>2</sup>
<p>特定工場敷地面積</p> <p>特定工場用地利用状況説明図</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>届出工場の周辺 2 km程度の範囲内で海面、河川、湖沼、埋立地、山林、農用地、学校、病院、公園等の用地、工場用地等の土地利用状況を明示して下さい。 又、右欄で説明した都市計画法の用途指定についても表して下さい。</p> <p style="text-align: right;">縮尺 1 /</p>		<p>特定工場の用に供する土地の説明</p> <p>都市計画法に基づく用途指定</p> <p>工場周辺の状況</p> <p>東側</p> <p>西側</p> <p>南側</p> <p>北側</p>	

← 現在所有している土地及び今回用地を取得する場合は、その土地も含まれます。借地等は除外して下さい。

← 土地の説明には、現在の届出工場の都市計画法に基づく用途指定を説明して下さい。  
又、東西南北に別けて工場周辺の状況を具体的に記入して下さい。  
敷地面積の変更が生じる場合は、移転登記日又は賃貸借契約日の予定日を記載して下さい。  
工業団地等に立地している、又は立地する場合は、造成主体及び団地名を記載して下さい。  
新しく用地を取得した場合は用地の取得年月日を記載して下さい。

様式例第4

施設の名称及び番号については、今回の届出について、すべてを記載するととも  
別紙1～2に記載した名称及び施設番号を記載して下さい。

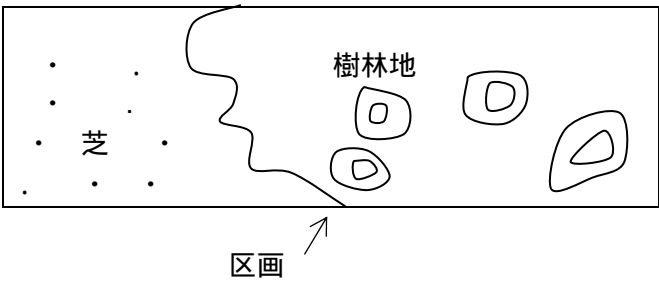
特定工場の新設等のための工事日程

年月 工事の種類	工 事 の 日 程								
	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月
造成(埋立)工事									
生産施設の設置工事									
施設の名称	施設番号		5日	10日					
			← 11日 運転開始 →						
環境施設・緑地の設置工事									
施設の名称	施設番号								
その他の主要施設の設置工事									

工事期間中の年月日  
を記載して下さい。

日程欄は工事の種類  
ごとに 印で表して  
下さい。  
工事の開始と終了の日  
を付記するとともに、  
生  
産施設の工事であれ  
ば、その運転開始の日  
も明記して下さい。(例  
示参照)  
又、既存施設を廃棄す  
る場合には、その施設  
の廃棄工事の日程も記  
載して下さい。

樹木の数、それぞれ該当する欄に記入して下さい。  
 ただし、芝がベースとなっている緑地で、高木や低木が植えてあるが、樹木のみでは緑地の定義に合致しない場合は、地被植物欄に、緑地面積と同面積を記入して下さい。  
 又、一区画内であっても、下図のように緑地の定義が異なり、一区画内の合計面積では、緑地の定義に該当しない場合は、それぞれ別に分けて記載して下さい。



施設番号及び緑地面積欄は届出書の別紙2に記載した同番号同面積を記載して下さい。

緑化計画書類

(用紙の大きさA4)

施設番号	緑地番号	植 栽 計 画			工場立地法の内容		樹木の種類
		高木(本)	低木(本)	地被植物 (m <sup>2</sup> )	植栽密度	緑地定義	
合 計							

植栽密度は、実際の植栽密度とし、緑地の定義に基づき算出して下さい。  
 高木のみ(規則第3条1のイ)                      本/10m<sup>2</sup>  
 高木及び低木(規則第3条1のロ)              高木 本/20m<sup>2</sup> 低木 本/20m<sup>2</sup>  
 低木のみ(規則第3条2)                          本/m<sup>2</sup>  
 この場合m<sup>2</sup>当たり低木1本のみでは、通常は第3条2に該当しないケースがありますのでご注意下さい。  
 又、樹冠面積の場合は、植栽密度欄に樹冠と記入して下さい。

上記様式は「工場立地法解説」に記載されている様式と異なっていますが、どちらかを使用し  
 緑化計画書類を作成して下さい。  
 また、附則第3条第1項の届出の場合、既存緑地についてもすべて記載して下さい。